

# ヒラリー氏と見解相違

## 閣議決定「会談招請された」

### 09年「辺野古の履行要求」

【東京】民主党政権が米軍普天間飛行場の県外移設を模索していた2009年12月、ヒラリー・クリントン米國務長官(当時)が藤崎一郎駐米大使(同)を呼び出して辺野古移設の早期履行を要求したとの当時の日本側の説明をめぐり、政府は17日、「藤崎氏がクリントン氏に招請され会談を行った」と従来の見解を示す答弁を閣議決定した。

一方、6月30日に國務省

が公開したクリントン氏のメールでは、クリントン氏から会談は求めていることが明らかにされており、日米で見解が食い違っている。

クリントン氏のメールによると、藤崎氏と会談する予定だったカート・キヤンベル國務次官補(当時)が「ほんの2、3分の間、彼(藤崎氏)を連れてくる。あなたの考えを聞かせてください」とクリントン氏に要望し、クリントン

氏は「OK」と返信していた。

だが当時、藤崎氏は記者団にクリントン氏から呼び出されたとの内容を伝え、日本の主要メディアは「國務長官が駐米大使に急ぎよ会談を求めるのは異例」などと報じていた。

当時、県外移設を模索していた鳩山由紀夫首相の意向に反し辺野古移設を進めるため、外務省が米国からの「圧力」を強調した可能性がある。初鹿明博衆院議員(維新)の質問主意書への答弁。

# クリントン氏が招請

## 09年駐米大使会談 政府、閣議決定

【東京】米軍普天間飛行場の県外移設を模索していた民主党・鳩山政権時の2009年12月にあった藤崎一郎駐米大使(当時)とヒラリー・クリントン米國務長官(同)との会談について、政府は17日の閣議で「クリントン國務長官から

招請され、会談を行った」とする答弁書を閣議決定した。初鹿明博衆院議員(維新、東京16区)の質問主意書に答えた。

藤崎氏とクリントン長官との会談をめぐる、どちらが持ち掛けたかについて米側と日本側で見解が違っ

ている。外務省は会談当時、藤崎大使はクリントン氏から呼び出されたなどと説明したが、米側はクローリー米國務次官補(当時)が会談翌日の記者会見で「呼び出したのではなく藤崎大使の方からクリントン長官とキヤンベル國務次官補(東アジア・太平洋担当)を訪れた」と説明していた。

一方で、先月末に公表されたクリントン氏の在任期間中のメールでは國務省職

員が「藤崎大使と明日会談するキヤンベル(前國務次官補)が、あなた(クリントン氏)に彼(藤崎大使)と少しの間会えないか聞いている」と送付した記録があり、クリントン長官に呼び出されたとする外務省側の説明が虚偽だった可能性が浮上している。初鹿氏は政府に対して再度、質問主意書を提出し、米側と日本側の説明のどちらが正しいのかを追及する考え。

間中のメールでは國務省職